

高齢者の生活支援の取り組みについて

■生活支援サポーター養成講座の開催

今年度より、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ちょっとした困りごとを支援する「生活支援サポーター」の養成に取り組んでいます。

このサポーターは、ゴミだしや片づけ、掃除、買い物、話し相手、電球交換などの軽作業といった日常の助け合いの範囲で行える活動により高齢者の暮らしをサポートします。

今年度は2回の講座を開催し、計27名の方が修了されました。地域の中での担い手を増やし、高齢者の生活を支援する体制を整えていきます。

■支え愛連絡会の開催（お願い）

自治会内で心配な方について、その見守り状況や見守る中での心配なことなどを意見交換する「支え愛連絡会」の開催をすすめています。

愛の輪協力員さんが担当されているひとり暮らし高齢者の方などについて、自治会長さんや民生委員さんをはじめ自治会で支援にあたられる皆さんで情報交換をし、他に支援の必要な方や医療・介護サービスなどの対応が必要な方がいる場合は、必要に応じて地域包括支援センターや社会福祉協議会が関わり、その支援策と一緒に検討します。

地域の中での見守りの体制を充実するとともに、見守り活動をしている方のバックアップのためにも、連絡会の開催についてご検討お願いします。

【開催のイメージ】（年2回程度開催）

○参加者

- ・自治会長さん ・民生委員さん ・福祉推進員さん
- ・愛の輪協力員さん

○話合いの内容

- ・愛の輪協力員さんが担当されている高齢者さんのご様子について
- ・見守り活動で困っていることはないか
- ・他に心配な方や見守りの必要な方はないか
- ・役場や社協など福祉の機関が関わった方がよいことはないか

など

